

株主のみなさまへ

第75期のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

株式会社 **キング**



TOP MESSAGE

キンググループは
様々な環境変化に即して、
培ってきた「強み」を進化させ、
新たな「試み」を成長させ、
常に存在感のある企業を目指します



代表取締役会長CEO
山田 幸雄



代表取締役社長COO
長島 希吉

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は温かいご支援を賜りまして、有難く御礼申し上げます。ここに、第75期(2021年4月1日から2022年3月31日)における当社グループの概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や緊急事態宣言の解除等により景気に持ち直しの動きが見られましたが、変異株による感染再拡大リスクが続くなかで、ウクライナ情勢やサプライチェーンの停滞なども相俟って、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

アパレル・ファッション業界におきましても、人の流れが緩やかに戻りつつあるなか、感染再拡大の懸念による消費マインドの低迷に加え、コロナ禍における消費行動の変化によって衣料品に対する慎重な購買行動は継続しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質・プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上と生産管理機能の一層の強化を図り、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に抑えるべく、パートナーショップに対する支援策の推進、不採算店舗の撤退、収益性を重視した取引条件の見直し、店頭と顧客を繋ぐコミュニケーションツールとしてSNSの活用やECの立ち上げ等、

WEB戦略推進を本格化すると共に、販売費を中心とした諸経費の削減等、状況に応じて諸施策を実施してまいりました。

その結果、売上高は80億50百万円(前期比0.6%減少)、営業利益は6億73百万円(前期は営業損失5百万円)、経常利益は7億26百万円(前期比789.7%増加)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4億22百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失1億29百万円)となりました。

事業セグメント別の状況は以下の通りであります。

■アパレル事業

「強いものづくり」を変わらぬ基軸とした付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりにより一層注力すると共に、コロナ禍における当社のパートナーショップに対する支援策の継続、WEB戦略の推進、固定費を中心とした諸経費の削減等を実施してまいりました。

ワクチン接種の普及や緊急事態宣言の解除等によって個人消費は徐々に回復傾向にありましたが、売上高は64億89百万円(前期比2.8%減少)、営業利益は31百万円(前期は営業損失6億12百万円)となりました。

■テキスタイル事業

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指し、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発

強化、次世代人材の育成、諸経費の削減等に取り組むと共に、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力の向上にも注力し、引き続き、「意匠力・提案力・対応力」をベースに企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は7億96百万円(前期比13.7%増加)、営業利益は59百万円(前期比204.1%増加)となりました。

■エステート事業

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の有効活用にも努めた結果、売上高は7億64百万円(前期比5.7%増加)、営業利益は5億86百万円(前期比1.2%減少)となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及に伴い、社会経済活動が正常化し、本格的に人

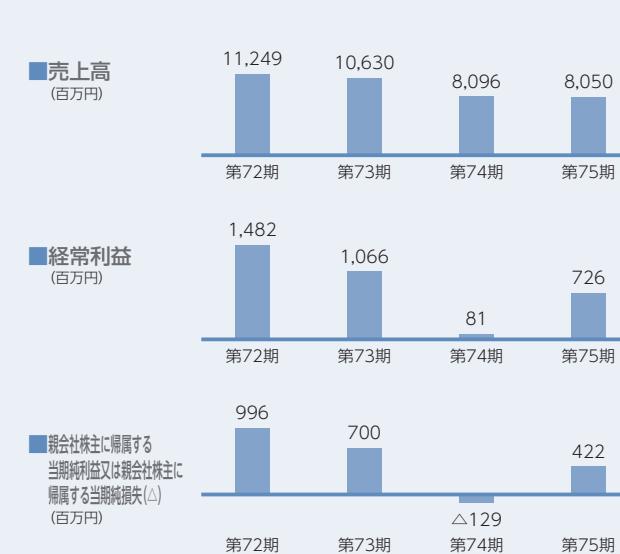
の流れが再開することによって景気は緩やかに回復することが期待されますものの、今後の感染動向やウクライナ情勢等、不透明感が強いなかで当面は予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質・プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、パートナーショップに対する支援強化、人材・能力を重視したショップ開発による売上拡大、WEBツールを活用したオンラインとオフラインの戦略的連携の本格化、生産管理機能の強化、固定費を中心とした諸経費の削減に努め、科学(構造式)と感性(想像力)を進化させた「創造と変革」の融合によって継続的、安定的に質の高い事業構造を目指すべく、全力を傾注する所存であります。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

第75期連結決算ハイライト Highlight

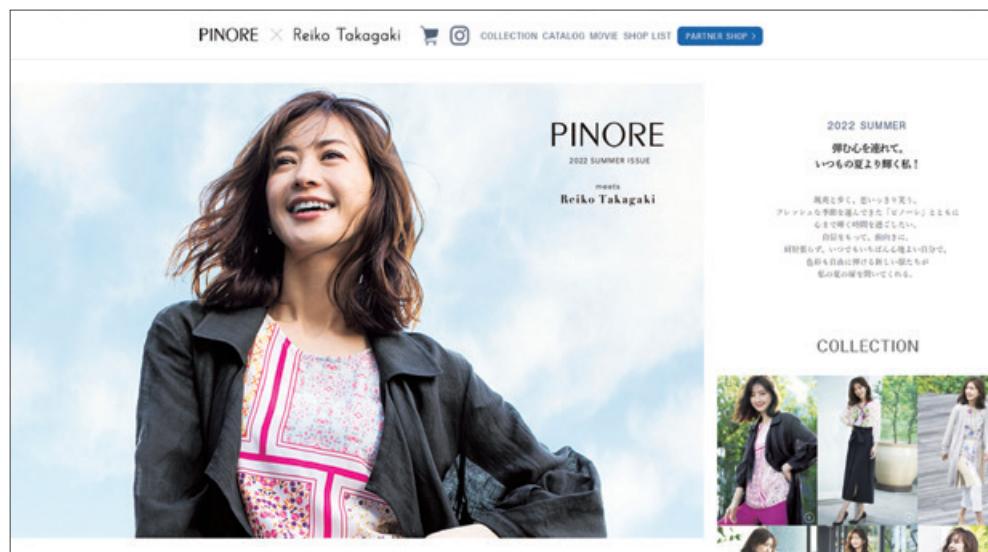


	第72期 2018年4月 2019年3月	第73期 2019年4月 2020年3月	第74期 2020年4月 2021年3月	第75期 2021年4月 2022年3月
売上高	11,249	10,630	8,096	8,050
経常利益	1,482	1,066	81	726
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	996	700	△129	422
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	53円67銭	38円56銭	△7円17銭	23円63銭
総資産	24,554	24,351	23,966	24,263
純資産	21,053	21,164	21,006	21,073
1株当たり純資産	1,154円53銭	1,172円18銭	1,163円43銭	1,194円80銭

FOCUS

キング アパレルビジネスの基軸

- ・「上等・上質＝プレミアム」にこだわった商品を、
- ・パートナーショップのみなさまと共に、
- ・丁寧な接客で販売する



市場環境の変化に即して、 情報発信・販売手法を進化させます

2年間のコロナ禍はアパレルビジネスに様々な影響を与えましたが、中でも大きかったのは展開している店舗の閉鎖や感染不安からお客様が遠のいたことでした。

そこで当社では、上等・上質＝プレミアムにこだわった「強いものづくり」に一層努力すると同時に、直接お会いできないお客様にその内容をお伝えすべく、昨年ご紹介したキング流Web（ウェブ）ビジネス推進に取り組んでまいりました。

会社としては、HP（ホームページ）におけるブランドや店舗情

報の内容充実を図り、Instagram（インスタグラム）による情報発信においても、ブランド数を倍増させ、発信頻度を増やし、EC（Eコマース）で展開する3つのブランドにはショッピング機能も装備して連携を強化してまいりました。そしてそのEC（.K online）においても、サイト認知を高める施策を拡大・継続してきたことでお客様の増加が顕著になってきております。

キング流Webビジネスを実際に運用しながら進化させていく、この1年取り組んできた対応をこれからも更に推し進めてまいります。

常にお客様にとって便利で、 ご満足いただける対応を目指します

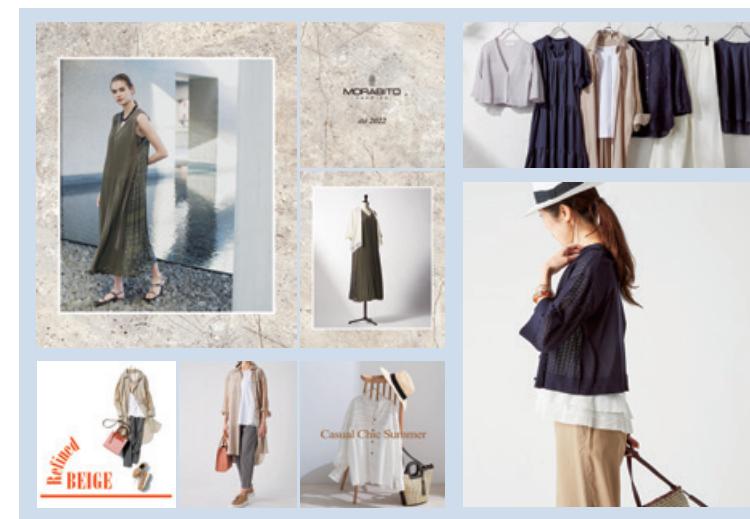
コロナ禍のもう一つの影響としては、SNS（ソーシャル ネットワーキング サービス）やWebサイトによる情報発信が、企業・個人を問わず拡大・浸透し、その量とスピードが飛躍的に進化したこと、ECに代表されるように消費行動が大きく変化したことが挙げられます。

それゆえ先述の通り、会社としてもそれらの活用レベル引き上げに注力すると同時に、店頭からも、LINE（ライン）を活用して、商品情報や様々なご案内はもとより、店舗独自の情報発信にも工夫を凝らし、お客様との接点（絆）を継続することに努めてまいりました。

もちろん、キングのアパレルビジネスの基軸は、「上等・上質＝プレミアム」にこだわった商品を、パートナーショップのみなさまと共に、実店舗において「丁寧な接客」で販売することに変わりはありません。

しかし環境変化の中でお客様との向き合い方も変化していきます。基軸は守りつつ、どのような状況、どのような接点であっても、常にお客様にとって便利で、ご満足いただける対応をこれからも目指してまいります。

SNS 投稿画像



SNS から EC サイト誘導



BRANDS

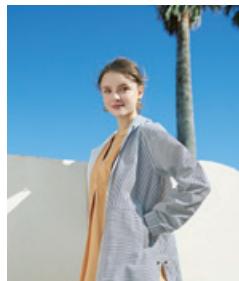
オリジナリティ溢れる、それぞれのカタチ

— 明確なスタイルを打ち出すアパレル&ファッショングッズとテキスタイル —



PINORE (ピノレ)

上質で知的な空間に心を満たしながら、常に自分の生き方を楽しみ、描き続ける大人の女性に向けて、モダンライフクロージングを提案。数々のファッション誌で活躍中のモデル「高垣麗子さん」をイメージモデルに起用し、シーズンのスタイリングをご紹介します。



CECICA BLUE

(セシカブルー)

特別感、個性を大切にする女性たちへ。「フェミニンカジュアル」をテーマに、大人の女性が楽しめるワクワク感を持った上質カジュアルを提案します。



JUDY

(ジュディコレクション)

女性ならではのときめき感を大切に、洗練された大人のこだわりとやさしさをさりげなく表現するコンテンポラリーなフェミニンブランド。



LUPUY

(リュビュイ)

「STYLE UP & FUN」、スタイリングに華やかさを添えて、ライフスタイルを豊かにするトータルグッズを提案します。



MORABITO

(モラビトブラン)

時代を超えて色あせないモラビトのフィロソフィーに、「軽やかさと時代性」をプラスし、繊細なものづくりとリラックス感あふれる都会的なスタイルを表現します。



MORABITO

(モラビトブルミエ)

フランス老舗の最高級バッグメゾン、モラビトの精神を受け継ぎながら、時代が求める“自分らしさ”や“真の贅沢さ”をまとったこだわりのワードローブを提案します。



AUSTIN REED

(オースチンリード)

英国の歴史、スタイルに育まれ、また英国王室御用達の榮譽を持つオースチンリード社とのコラボレーションで、クラス感のあるライトプレタスタイルをお届けします。



PRIDE

(プライド)

自分らしさを追求する女性たちへ、セレクト性を重視した「リッチカジュアルスタイル」をGOODSも含めたトータルコーディネートで提案します。



PRIDE BIS

(プリデビス)

プライドのGOODSブランド。WEARブランドのプライドと共に、大人の女性の魅力を最大限に引き出すアイテムを展開します。



mistico

(ミスティコ)

「上品」「上質」「しなやか」をキーワードに、大人のためのエレガンススタイルを提案します。

Instagram Official Account

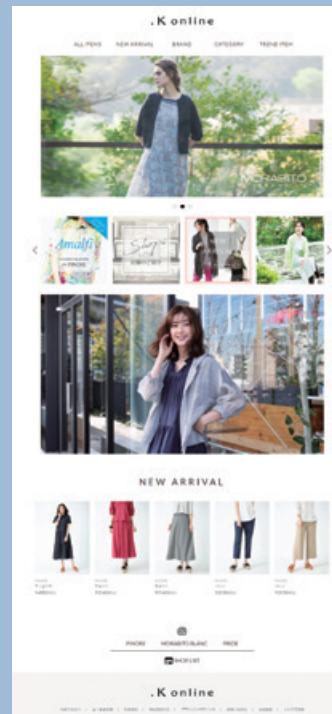
BRAND LINEUP

TEXTILE

テキスタイル事業は創業以来70年の間に、キング独自のビジネスモデルを創り上げました。トレンドの発信に参画するプリントのプロフェッショナル集団として、ファッション業界で高い評価を得ています。

EC SITE

.K online



PINORE LUPUY MORABITO

PRIDE PRIDE BIS



<https://dot-k.jp>

決算の概要(連結)

連結貸借対照表

百万円

科 目	第74期	第75期
	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,761	12,816
現金及び預金	10,469	10,478
受取手形及び売掛金	856	825
商品	1,233	1,376
原材料及び貯蔵品	30	31
その他	177	110
貸倒引当金	△5	△4
固定資産	11,204	11,447
有形固定資産	8,699	9,071
建物及び構築物	1,994	2,142
土地	6,480	6,480
建設仮勘定	4	220
その他(純額)	220	228
無形固定資産	259	185
投資その他の資産	2,245	2,190
投資有価証券	1,425	1,414
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	46	5
差入保証金	552	556
その他	234	225
貸倒引当金	△15	△14
資産合計	23,966	24,263

百万円

科 目	第74期	第75期
	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
負債の部		
流動負債	1,669	1,917
支払手形及び買掛金	640	660
有償支給に係る負債	—	55
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	—	50
未払金	264	238
未払法人税等	61	165
未払消費税等	2	28
賞与引当金	142	156
役員賞与引当金	13	17
その他	165	165
固定負債	1,290	1,272
長期借入金	50	100
繰延税金負債	—	2
長期未払金	167	166
退職給付に係る負債	181	167
資産除去債務	119	125
長期預り保証金	771	709
負債合計	2,959	3,189
純資産の部		
株主資本	20,549	20,622
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	12,321	12,615
自己株式	△2,244	△2,466
その他の包括利益累計額	456	451
その他有価証券評価差額金	453	444
退職給付に係る調整累計額	2	7
純資産合計	21,006	21,073
負債及び純資産合計	23,966	24,263

連結損益計算書

百万円

科 目	第74期	第75期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	8,096	8,050
売上原価	3,972	3,524
売上総利益	4,123	4,525
販売費及び一般管理費	4,128	3,852
営業利益又は営業損失(△)	△5	673
営業外収益	95	61
受取利息	5	2
受取配当金	32	29
仕入割引	12	13
雇用調整助成金	16	2
その他	28	13
営業外費用	8	7
支払利息	3	3
その他	5	4
経常利益	81	726
特別利益	—	2
固定資産売却益	—	2
特別損失	203	94
固定資産除却損	51	40
投資有価証券評価損	105	—
臨時休業等による損失	47	54
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△121	633
法人税、住民税及び事業税	47	165
法人税等調整額	△39	45
法人税等合計	7	211
当期純利益又は当期純損失(△)	△129	422
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△129	422

連結株主資本等変動計算書(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,346	8,127	12,321	△2,244	20,549	453	2	456	21,006
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△1	—	△1	—	—	—	△1
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,346	8,127	12,319	△2,244	20,547	453	2	456	21,004
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△126	—	△126	—	—	—	△126
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	422	—	422	—	—	—	422
自己株式の取得	—	—	—	△221	△221	—	—	—	△221
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△9	4	△4	△4
当期変動額合計	—	—	295	△221	74	△9	4	△4	69
当期末残高	2,346	8,127	12,615	△2,466	20,622	444	7	451	21,073

事業セグメント別売上高

百万円

区 分	第74期	第75期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
アパレル	6,673	6,489
テキスタイル	699	796
エステート	723	764
合 計	8,096	8,050

要約連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

科 目	第74期	第75期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	680	1,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252	△248
現金及び現金同等物の増減額	454	8
現金及び現金同等物の期首残高	10,014	10,469
現金及び現金同等物の期末残高	10,469	10,478

■会社の概要 (2022年3月31日現在)

会社名 ● 株式会社キング
 設立 ● 1948年9月
 資本金 ● 23億46百万円
 社員数 ● 166名(グループ)
 215名(店頭販売員等を含む)

主要事業 ● アパレル(レディス・ファッショングッズ)
 (グループ) テキスタイル(プリント・無地先染)
 エステート

■役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役会長CEO ● 山田 幸雄
 代表取締役社長COO ● 長島 希吉
 取締役専務執行役員 ● 石井 修二
 取締役専務執行役員 ● 四反田 孝
 取締役 ● 澤田 眞治郎
 取締役 ● 藤井 卓也
 常勤監査役 ● 苗村 尚志
 監査役 ● 平居 新司郎
 監査役 ● 浅見 雄輔

(注) 1. 取締役の澤田眞治郎氏、藤井卓也氏は、社外取締役であり、東京証券取引所が定める独立役員であります。
 2. 監査役の平居新司郎氏、浅見雄輔氏は、社外監査役であります。

■事業所

●東京本社
 〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目14番9号 TEL (03) 3490-1371
 ●大阪店
 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番7号 TEL (06) 6368-7800
 ●京都本店
 〒600-8214 京都市下京区東塩小路高倉町2番の1 TEL (075) 681-9110
 ●渋谷店
 〒150-0041 東京都渋谷区神南1丁目6番6号 TEL (03) 3476-0260

■株式の状況 (2022年3月31日現在)

●株式の総数及び株主数

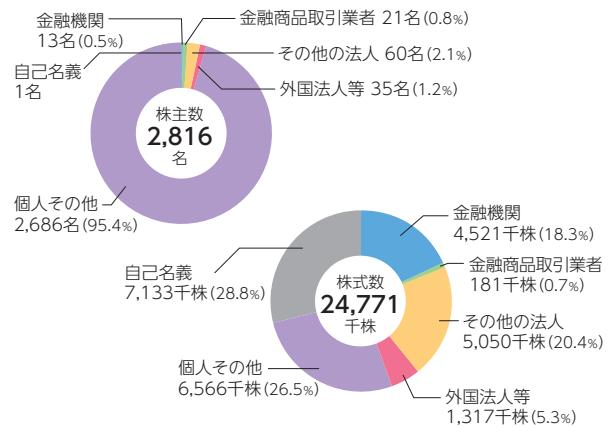
発行可能株式総数	95,572,000株
発行済株式の総数	24,771,561株
当期末現在株主数	2,816名

●大株主

株主名	株式数(千株)
キング共栄会	1,174
一般財団法人 山田育英財団	1,096
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	1,015
株式会社 中央倉庫	1,014
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	978
株式会社 三菱UFJ銀行	850
株式会社 京都銀行	842
大同生命保険 株式会社	840
有限会社 ワイ・エンタープライズ	800
山田幸雄	731

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式 7,133千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●株式の所有者別分布



■株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 ● 定時株主総会 3月31日
 ● 剰余金の配当 期末 3月31日

定時株主総会 ● 毎年6月に開催

株主名簿管理人
 特別口座の口座管理機関 ● 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 ● (〒541-8502) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 ● 東京証券取引所 スタンダード市場

公告の方法 ● 当社のホームページに掲載いたします。
https://www.king-group.co.jp/c_ir.html
 ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■単元未満株式の買増制度のご案内

単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式の数と合わせて1単元になる数の株式を当社に対して買増請求することができます。詳細につきましては、株主名簿管理人までお問い合わせください。

■株主様ご優待制度のご案内

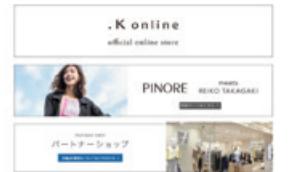
最低必要株式数 100株

ご優待内容

- (1) 図書カードの贈呈
 3月31日現在の株主様
 ●保有株式500株以上1,000株未満の株主様 500円分の図書カードを贈呈
 ●保有株式1,000株以上2,000株未満の株主様 1,000円分の図書カードを贈呈
 ●保有株式2,000株以上の株主様 2,000円分の図書カードを贈呈
- (2) 当社ファミリーセールご招待
 ①3月31日現在の100株以上保有の株主様
 ●6月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
 ●6月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈
 ②9月30日現在の100株以上保有の株主様
 ●12月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
 ●12月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈

※当社ファミリーセールは、当社グループ社員・家族及びその関係者を対象に東京会場及び大阪会場にて開催しております。

WEB SITE



<https://www.king-group.co.jp>

KINGCO.,LTD.

<https://www.king-group.co.jp>



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。